





ユーザーガイド

Powered by RPCX

## RP-Distort へようこそ

RP-Distort、RPCX ディストーション・ユニットをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

RP-Distort は単なるディストーション・ユニットではなく、もっと多くの機能を備えています。RP-Distort のディストーション・ユニットはアナログ・モデリングしたフィルター、コンプレッサー、ステレ オ・ワイドナーを組み合わせて使用することができます。

これらのユニットは、任意の順序で並べることができ、個別にオン、オフをコントロールすることができます。アナログ・モデリングされたフィルターだけを必要とする場合、RP-Distortはフィルターのみを使用することができ、モノトラックに拡がりを持たせるためにワイドナー・ユニットだけを使用することも可能です。

それに加えて、MIDI ソースによってモジュレーションさせたり、LFO を使用してホストのテンポと同期 させることができます。

ディストーション・ユニットはリング・モジュレーターや Lo-Fi を含む 22 種類のディストーション・タイプ を搭載しています。このセクションには EQ、ノイズゲートも含まれています。

RP-Distort は、実際にはインスピレーションを与える方法でトラックを歪ませる激しい FX ユニットです。

最後に、ご使用になっている音楽プログラム(ホスト)が RP-Distort を MIDI によるコントロールが行 える場合、"モジュレーション・ホィール"、場合によっては"ピッチベンド"を使用することが可能です。 ほとんどのファクトリー・プリセットでこれらのコントローラは、割り当てられており、サウンドをコントロ ールすることができます。

# 目次

RP-Distort へようこそ	2
目次	3
インストール	4
Windows へのインストール (VST)	4
Windows へのインストール (RTAS)	4
Mac へのインストール (VST, AU and RTAS)	5
[コントロール]	6
ノブ	6
ボタン	6
右クリック	6
コンピュータ・キーボード・コントロール	7
プリセット	8
Bank	9
Edit / Original	9
ECS	10
ディストーション・ユニット(Distortion Unit)	11
ディストーション・ユニット	11
ディストーション・タイプ & コントロール	11
EQ ユニット	15
ノイズゲート・ユニット	15
フィルター、コンプレッサー、ワイドナー	16
フィルター	16
コンプレッサー	16
ワイドナー	16
モジュレーション	17
Mod	17
LFO	17
バックパネル	18

## インストール

#### Windows へのインストール(VST)

- 1. RP プラグインのパッケージをご購入頂いた場合、CD-ROM/DVD 内のインストーラをご使用ください。以下の手順でプラグインの最新バージョンをダウンロードされた場合は以下のステップに 従ってインストールを進めてください。
- 2. "www.robpapen.com "にログインしてください。アカウントを持っていない場合は、新たに作成してください。
- その後、レジストレーション・メールに記載されているシリアルを使用して RP プラグインを登録してください。
- 注:ご使用になるプラグインを登録することでサポート、受けることも可能です。またアップデートやも う一台のコンピュータへ使用できる追加のシリアルを入手することができます。
- 次に登録の後に現れるポップアップのダウンロード・リンクをクリックし、ご使用になるコンピュータの最新バージョンをダウンロードしてください。PC版のマルチコア・バージョンは、マルチコア・ プロセッサー搭載のコンピュータ向けです。64bitバージョンは、64bit 音楽ソフトとコンピュータ向けです。
- 5. インストーラを実行し、インストール中に RP のシリアルを求められたら入力してください。
- 6. 音楽ソフトウェア内で RP プラグインを立ちあげてください。シリアルの入力にミスがあった場合はここで再び入力することを求められます。シリアルが正しく入力された後、プラグインはオーサライズされ、使用する準備が整います。

RP-Distort のインストールまたは使用法についてご質問がある場合には、FAQ をご覧頂くか、ディ リゲントのサポートチーム(<u>www.dirigent.jp/support</u>)にご連絡ください。 プラグインとして使用する際の詳細については、ご使用になる音楽ソフトウェアのマニュアルを参照 してください。

#### Windows へのインストール (RTAS)

- 1. RP プラグインのパッケージをご購入頂いた場合、CD-ROM/DVD 内のインストーラをご使用くだ さい。以下の手順でプラグインの最新バージョンをダウンロードされた場合は以下のステップに 従ってインストールを進めてください。
- 2. "www.robpapen.com"にログインしてください。アカウントを持っていない場合は、新たに作成してください。
- その後、レジストレーション・メールに記載されているシリアルを使用して RP プラグインを登録してください。
- 注:ご使用になるプラグインを登録することでサポート、受けることも可能です。またアップデートやも うー台のコンピュータへ使用できる追加のシリアルを入手することができます。

- 次に登録の後に現れるポップアップのダウンロード・リンクをクリックし、ご使用になるコンピュータの最新バージョンをダウンロードしてください。
- 5. インストーラを実行し、インストール中に RP のシリアルを求められたら入力してください。
- 6. 音楽ソフトウェア内で RP プラグインを立ちあげてください。シリアルの入力にミスがあった場合はここで再び入力することを求められます。シリアルが正しく入力された後、プラグインはオーサライズされ、使用する準備が整います。

RP-Distort のインストールまたは使用法についてご質問がある場合には、FAQ をご覧頂くか、ディ リゲントのサポートチーム(<u>www.dirigent.jp/support</u>)にご連絡ください。 プラグインとして使用する際の詳細については、ご使用になる音楽ソフトウェアのマニュアルを参照 してください。

#### Mac へのインストール (VST, AU and RTAS)

- 1. RP プラグインのパッケージをご購入頂いた場合、CD-ROM/DVD 内のインストーラをご使用くだ さい。以下の手順でプラグインの最新バージョンをダウンロードされた場合は以下のステップに 従ってインストールを進めてください。
- 2. "www.robpapen.com "にログインしてください。アカウントを持っていない場合は、新たに作成してください。
- 3. その後、レジストレーション・メールに記載されているシリアルを使用して RP プラグインを登録し てください。
- 注:ご使用になるプラグインを登録することでサポート、受けることも可能です。またアップデートやも う一台のコンピュータへ使用できる追加のシリアルを入手することができます。
- 次に登録の後に現れるポップアップのダウンロード・リンクをクリックし、ご使用になるコンピュータの最新バージョンをダウンロードしてください。
- 5. インストーラを実行し、インストール中に RP のシリアルを求められたら入力してください。
- 6. 音楽ソフトウェア内で RP プラグインを立ちあげてください。シリアルの入力にミスがあった場合はここで再び入力することを求められます。シリアルが正しく入力された後、プラグインはオーサライズされ、使用する準備が整います。

RP-Distort のインストールまたは使用法についてご質問がある場合には、FAQ をご覧頂くか、ディ リゲントのサポートチーム(<u>www.dirigent.jp/support</u>)にご連絡ください。 プラグインとして使用する際の詳細については、ご使用になる音楽ソフトウェアのマニュアルを参照 してください。

## [コントロール]

RP-Delay では、パラメータを調整するためにコントロール・ノブとボタンを使用します。コントロールの上でマウスを動かすと、コントロール名とその値が、上部真中にある RP-Delay の読み出し画面に表示されます。

## ノブ

ノブ上を左クリックしたままマウスを上下に動かすことで、アマウントの変更を行うことができます。ア マウントは、読み出し画面に表示されます。Shift キーを押したまま上下に動かすことで、アマウント を微調整することができます。Ctrl+クリック(Mac は Command+クリック)で、アマウントはデフォル ト値に設定されます。

### ボタン

ボタンはそれぞれ3通りの要素があります。:

## オン / オフ・ボタン

オン/オフ・ボタン:ボタンをクリックするたびに、オン/オフが切り替わります。特別なタイプのボタン は、エフェクト・セクションの名前に組み込まれています。これは、エフェクト・セクションのオン/オフを スイッチします。例えば、"Distort"ボタンと"Filter"ボタンです。すべての個々のエフェクト・セクション はこのようにオン/オフさせることができます。スイッチをオンにするとそのエフェクト・セクションの文 字は青く点灯します。

#### ラジオ・ボタン

いくつかのオプションの中から一つを設定する場合に使用します。例えば FX ボタンがこれに当たります。.

#### メニュー・ボタン

PRESET メニューなどのメニュー・ボタンを左クリックすると、ポップアップ・メニューが表示され、その コントロールのための選択をすることができます。

#### 右クリック

任意のコントロールの上で右クリック (Mac は Command+クリック) すると、MIDI メニューが表示されます。これには、パラメータ名、現在値、ラッチ先の MIDI が表示されます。 また、以下を行うこともできます。

●Set to default コントロールをデフォルト値に設定します。

●Set to Zero コントロールをゼロに設定します。

●Latch to midi 任意のコントロールを、MIDI コントロールにラッチします。 例えば、MIDI エクスプレッションに "Volume"をラッチするには、"Volume ノブ"を右クリックし、ポップ アップ・メニューの"Latch to Midi(MIDI (ニラッチ)"を選択した後に、MIDI エクスプレッション・コントロー ルを動かします。これで画面上の Volume ノブも同時に動くようになります。 また以下を行うこともできます。

これらの MIDI コントローラの設定はグローバルで、ホスト・シーケンサーで起動しているすべての RP-Distort 共通のアクションとなります。

●Unlatch midi 任意の MIDI コントロールをアンラッチします。

●Clear midi すべての MIDI コントロールをアンラッチします。 注記:プリセットセクションでは、ハード・ディスクに MIDI ラッチのセットアップ全体をセーブ/ロード することができます。画面上部の「ECS」ボタンをクリックしてください。

#### コンピュータ・キーボード・コントロール

コンピュータのキーボードを使用してプリセットとバンクを切り替えることができます。画面右上にある"RP-Disort"のロゴをクリックして、バックパネルを表示し、「Computer Keyboard On / Off」ボタンをオンにします。

1+	前のプリセット
↓+	次のプリセット
→‡—	プリセット番号を 16 増やす
←‡—	プリセット番号を 16 減らす
Page Down キー	次の RP-Distort バンク
Page Up キー	前の RP-Distort バンク

## プリセット



プリセット・セクションでは、RP-Delayのすべてのプリセット、バンク、外部コントロール設定を管理します。このセクションには、お気に入りのプリセットを容易に作成できるようにする Quick Browser (クイック・ブラウザ)機能が付いています。

プリセット画面をクリックしてプリセットを選択します。

また「< >」キーを使用して、選択したバンクのプリセット内を順番にブラウズすることも可能です。

プリセット・メニューには Quick Browser (クイック・ブラウザ) 機能、Recently Browsed (最近のブラウズ) 機能、及び Favorites (お気に入り) 機能もあります。 ユーザーは、ロード/セーブ/リネーム/コピー/ペーストの動作を通してプリセットとバン クを管理できます。 また、プリセットをデフォルト設定にクリアすることもできます。

注記:プリセット編集後は、バンク全体の中にそのプリセットを保存する必要があります。オリ ジナルのプリセット・バンクを残しておきたい場合には、常に新しい名前を付けてバンク を保存するようにしてください。

#### **Quick Browser**

利用可能な全てのバンクとそのプリセットを表示します。 任意のプリセットをクリックすると、そのバンクとプリセットがロードされます。

#### **Recently Browsed**

最近使用した全てのプリセットを表示します。エントリをクリックすると、そのプリセットが再びロードされます。「Clear Recent」をクリックすると、全てのエントリが削除されます。

#### Favorites

お気に入りプリセットとして選択されたプリセットのリストを表示します。エントリをクリックするとその プリセットがロードされます。

「Add Current to Favorites」をクリックすることで、任意のプリセットを選択し、お気に入りにすることができます。「Remove Current from Favorites」は、Favorites リストから現在のプリセットを削除し、「Clear Favorites」は全てのエントリを削除します。

Favorites リストはコンピュータのハードディスクに保存され、リストは次回プラグインを使用する際にも記憶されています。

Bank

バンク画面をクリックしてバンクを選択します。また「< >」ボタンをクリックして、バンクを順番にブラ ウズすることも可能です。

すべての RP-Distort バンクは、コンピュータの RP-Distort/Banks フォルダにセーブされています。 オリジナルの RP-Distort バンクも、このフォルダ内にセーブすることをお勧めします。

バンクをセーブ/ロードするには、本セクションのファイル機能を使用する必要があります。

注記:オリジナルのプリセット・バンクを残しておきたい場合には、常に新しい名前を付けてバ ンクを保存するようにしてください。

#### Edit / Original

いったんプリセットを編集すると、edit / original ボタンが点灯します。

もう一度 edit / original ボタンをクリックすると、プリセットが元のオリジナル設定に戻ります。

再び edit / original ボタンをクリックすると、プリセットは編集済みのバージョンに戻ります ので、オリジナル・プリセットと編集済みプリセットを切り替えながら、加えた変更の違いを 聞くことができます。

注記:プリセット編集後は、バンク全体の中にそのプリセットを保存する必要があります。 オリジナルのプリセット・バンクを残しておきたい場合には、常に新しい名前を付けてバ ンクを保存するようにしてください。

#### Help Quick Manual

"?"ボタン (ヘルプ・ボタン)をクリックすると RP-Distort のマニュアルが表示されます。

#### **Bypass**

RP-Distort のエフェクトをオン/オフさせます。

#### Mix

RP-Distort から出力されるエフェクト音(ウェット)、または原音(ドライ)の比率をコントロールします。

#### Readout

最後に変更したコントロールとその値を表示します。

#### Path Menu

エフェクト・ユニットの接続経路をコントロールします。

#### **RP-Distort Logo**

ロゴをクリックすると RP-Distort の背面パネルを表示し、プラグインのグローバル設定を調整することができます。

## ECS

ECS と呼ばれる外部 MIDI コントローラ・セットアップ・ファイルをロード/セーブできます。 この設定はグローバルですので、いったん設定されるとすべてのプリセットで共用されます。 右ボタン(Mac では Command+クリック)メニューを使用して「Latch MIDI」を実行することで、MIDI コ ントローラに RP-Distort のコントロールの 1 つをラッチすることができます。 同様に MIDI コントロールをアンラッチしたり、すべての MIDI コントロールをクリアすることも 可能です。

## Load ECS

ECS セットアップを保存しているフォルダが開きます。 RP-Distort のインストーラーは、ECS と呼ばれるフォルダをインストールし、「.ECS」ファイルをロード します。

### Save ECS

MIDI セットアップをセーブします。これは「.ECS」ファイルとして保存されます。

### Reset all Midi

RP-Distort 用の全ての MIDI 設定をクリアします。 最初からやり直したいときに便利です。

## ディストーション・ユニット(Distortion Unit)

ディストーション・ユニットは、ディストーション・ユニットの後に、EQ ユニットとノイズゲート・ユニットが 続いて構成されています。

#### ディストーション・ユニット



RP-Distort は、広い範囲をカバーする 22 種類のディストーション・タイプを搭載しています。選択するエフェクト・タイプに関係なく、以下のコントロールは常に使用可能です。

On/Off	"Distort"ラベルをクリックするとディストーション・エフェクトをオン/オフ
	させます。
Volume	ディストーションのボリュームを調整します。
Туре	ディストーションのタイプを選択します。
Pre	プリディストーションのブースト・ボリュームを調整します。
Normalize	ディストーション出力ボリュームは入力ボリュームに合わせてノーマライ
	ズされます。100%で入出力のボリューム量は同じでなければなりませ
	$h_{\circ}$

## ディストーション・タイプ & コントロール

選択したディストーションのタイプによって表示されるコントロールによってディストーション・エフェクトを調整することができます。以下のページでは、使用可能なディストーション・タイプとそれらのパラメータ・リストを説明します。

#### None

ディストーションなし

#### **Amp Simulator**

アンプシミュレーション・エフェクトで、いくつかのアンプ・タイプがシミュレートされています。エッジのあるサウンドを作成する場合に優れています。

Туре	アンプ・シミュレーションのタイプを選択します。セッティングは次の通り
	です。: 無し( None)、4x10″ ギター・スピーカー、4x12″ ギター・スピー
	カー、ベース・スピーカー、コンボ・スピーカー、ラジオ・スピーカー
Distort	ディストーション量を調節します。

### **Cabinet Simulator**

幾つかのタイプのキャビネットがシミュレートされています。エッジのあるサウンドを作成する場合に 優れています。

Туре	キャビネット・シミュレーションのタイプを選択します。セッティングは次の
	通りです。: 無し( None)、フェンダー・タイプ( Fender)、マーシャルタイ
	プ(Marshall)、オフ・アクシス(Off Axis)
Distort	ディストーション量を調節します。

#### Clipper

ハードクリッパーです。設定したクリッピング・レベルの上、または下をリミッティングします。

Negative	ネガティブ・シグナルのクリッピング・レベルを0%(クリッピング無)から
	100%(最大クリッピング)の間で設定します。
Positive	ポジティブ・シグナルのクリッピング・レベルを0%(クリッピング無)から
	100%(最大クリッピング)の間で設定します。
Amount	クリッピングの量を0%(クリッピング無し)から100%(最大クリッピング)の
	間で設定します。

### Cos

コサイン・ディストーション・エフェクトです。

Frequency	コサイン・エフェクトの周波数を設定します。
Amount	コサイン・ディストーションの量を調節します。

## Cross 1

クロスディストーション タイプ1

Cross	クロス・ディストーションのポジション を調節します。
Amount	クロス・ディストーションの量を調節します。

## Cross 2

クロスディストーション タイプ2

Negative	ネガティブ・シグナルのクロス・ディストーションのポジション を調節しま
	す。
Positive	ポジティブ・シグナルのクロス・ディストーションのポジション を調節しま
	す。
Amount	クロス・ディストーションの量を調節します。

#### FoldOver

フォールドオーバー・ディストーション、これは音を増幅させ、フィードバックさせるようなサウンドです。

Frequency	フォールドオーバー・ディストーションの周波数を調節します。
Amount	フォールドオーバー・ディストーションの量を調節します。

## Fuzz

ファズ・ボックス・ディストーション

Frequenter	ファズの周波数を調節します。
Amount	ファズの量を調節します。

#### Gapper

ギャッパー・ディストーション

Frequency	ギャッパー・ディストーションの周波数を調節します。
Amount	<i>ギャッパー・ディストーション</i> の量を調節します。

#### Hard-limiter

ハードリミッターです。設定したリミットレベル以上、以下の音をリミッティングして出力し、その後シグ ナルをブーストします。

Limit	クリッピング・レベルを0%(リミッティング無し)から100%(無制限)の間
	で設定します。
Amount	リミッティング・ブースト後の量を設定します。

#### Low-Fi

Low-Fi エフェクトは、サンプル&ビットレートを減少させ、ノイズを加えます。

Bits	シグナルのビットレベルを調節します。
Sample Rate	シグナルのサンプルレートを調節します。
Noise	シグナルに加えるノイズの量を調節します。

#### OverDrive

オーバードライブ・エフェクトです。

Drive	オーバードライブのドライブ量を調節します。
Amount	オーバードライブのミキシング量を調節します。

#### Octave 1

オクターブ・エフェクト、1 オクターブ上の音にシフトします。

Negative	ネガティブ・シグナルのミキシングを行います。
Positive	ポジティブ・シグナルのミキシングを行います。

## Octave 2

オクター	-ブ・エフ	ェクトの	タイ	プ	2
------	-------	------	----	---	---

Frequency	オクターブ・エフェクトの周波数を調節します。
Amount	オクターブ・エフェクトのミキシング量を調整します。

## Power

パワーウェイブ・シェイピング・エフェクト.

Drive	パワー・エフェクトのドライブを設定します。
Amount	パワーのミキシング量を設定します。

### Rectify

ネガティブ・シグナルをレクチファイリング(整流)することでシグナルを調整します。

Rectification	ネガティブ・シグナルのレクチファイリング(整流):(-100%(なし)、0%
	(半分)、+100%(すべてレクチファイリング)
Amount	レクチファイリング(整流)したシグナルのミキシング量を設定します。.

#### **Ring Modulation**

リング・モジュレーターは選択したタイプのリングモジュレーションした異なるシグナルを原音に掛け 合わせるエフェクトです。

Туре	選択した波形をオシレーターに使用し、入力したシグナルにかけ合わせ
	ます。: Sine、Saw、Sqr、Tri,
Frequency	オシレーターの周波数を設定します。
Amount	リングモジュレーションの量を設定します。

#### Saturate

サチュレーション・エフェクト

Saturation	サチュレーション・レベルを調整します。
Amount	サチュレーションのミックス量を調整します。

## SoftLimit

ソフト・リミッター・エフェクト

Amount	ソフト・リミッターの量を調整します
Amount	ソフト・リミツダーの重を調発しま

#### Squarify

シグナルを二乗(スクエア波)し、その後、ローパス・フィルターを適用します。

Negative	ネガティブ・シグナルをスクエア波にする量を設定します。
Positive	ポジティブ・シグナルをスクエア波にする量を設定します。
Filter	ローパス・フィルターを適用するスクエア波の量を設定します。

## Transient

トランジェント(音の立ち上がり部分)を歪ませます。

Range	トランジェントのレンジを設定します。
Amount	トランジェント・ディストーションの量を設定します。

#### **Tube Simulator**

チューブディストーション・エフェクト。インプットにサチュレーション、リミッティング、レクチファイリング(整流)、バンドパフィルタリングを適用します。

Limit	ハードリミッターのスレッショルドを設定します。
Rect	レクチファイリングしたシグナルの量を100%(なし)、0%(半分)、
	+100%(すべてレクチファイリング)の間で設定します。
Saturate	サチュレーションの量を設定します。
Tone	バンドパス・フィルタの周波数を設定します。
Emphasis	バンドパス・フィルタの帯域幅を設定します。

## EQ ユニット



EQ ユニットは、4 バンドのイコライザー・エフェクトです。

On / Off	"EQ" ラベルをクリックして EQ をオン/オフさせます。
Low	125 Hz の音量
Mid 1	500 Hz の音量
Mid 2	2 kHz の音量
High	8 kHz の音量



hold

ノイズゲートは、スレッショルドで設定した値以下になったシグナルにゲートをかけ、取り除くエフェクトです。

On / Off	"Gate" ラベルをクリックしてゲートをオン/オフさせます。
Threshold	ノイズゲートが動作を始めるスレッショルドを設定します。
Attack	スレッショルドで設定した値を超えたシグナルに対してノイズゲートがど
	れくらい速く動作を始めるかを設定します。
Hold	ノイズゲートがトリガーされた後、スレッショルド以下のボリュームになっ
	てからどれくらいの時間ゲートを開いているかを設定します。
Release	ノイズゲートがトリガーされた後に、どれくらいの速さで再びゲートを閉
	めボリュームをゼロにするかを設定します。

## フィルター、コンプレッサー、ワイドナー



### フィルター

RP-Distort は、ロー/ハイパス・フィルターを備えています。配列はローパス、その次はハイパス・フィルターです。

12 / 24 DB 12dB と 24dB フィルターの切り換えを行います。	。(24dB は 12dB よりも
深くフィルターがかかります。	
Low ローパス・フィルターの周波数を設定します。	
Low Q ローパス・フィルターのレゾナンスを設定します。	0
High ハイパス・フィルターの周波数を設定します。	
High Q ハイパス・フィルターのレゾナンスを設定します。	0

#### コンプレッサー

コンプレッサーは、シグナルのダイナミックレンジとレスポンスを調整するオーディオエフェクトです。

Threshold	コンプレッサーが動作を始めるスレッショルドを設定します。
Ratio	減衰比率を設定します。レシオが 1∶2 の設定では 4dB のシグナルは、
	4dB/2=2dB となります。
Attack	コンプレッサーが動作を始めるまでの速さを設定します。
Release	コンプレッサーがどれくらい長くゲイン・リダクションを行うかを設定しま
	す。
Volume	コンプレッションを行った後のシグナルのボリュームを設定します。

#### ワイドナー

ステレオ・サウンドに拡がりを与えます。

Amount	スレテオ・ワイドナーを適用する量を設定します。
Width	ステレオ幅を設定します。
Speed	ステレオ幅の量が変化するスピードを調節します。



#### Bypass Global

モジュレーションと LFO コントロールのすべてをバイパスします。 グローバルなモジュレーションと LFO の量を設定します。

### Mod

モジュレータ・セクションでは、RP-Distort のパラメータにモジュレーション・ソースを加えるために RP-Distort の 4 つのモジュレータ・スロットの中から一つを使用することができます。 "MOD 1"から"MOD 4"とラベルのついたボタンをクリックしてモジュレータ・スロットを選択します。

Source	モジュレーション・ソースを選択します。
Destination	選択したソースによってモジュレーションを受けるパラメータを選択しま
	す。
Amount	モジュレーション・ソースがディスティネーションに与えるモジュレーショ
	ンの量を設定します。

## LFO

LFO セクションでは、RP-Disort の parameter に変化を加えるために 4 つの LFO を使用することが できます。 "LFO 1"から"LFO 4"とラベルのついたボタンをクリックして LFO を選択します。

Wave	6 種類の LFO ウェーブフォームから選択します。— Sine、Triangle、
	Saw Up / Down、Square、 Sample and Hold
Speed	LFO が動作しているスピードをコントロールします。"Sync"がオンになっ
	ているときは、ホストのテンポに同期します。
Sync	LFO のスピードがホストにシンクさせる場合は、このボタンをオンにしま
	す。
Human	LFO のスピードがランダムに変化するように設定します。
Sym	LFO の波形の中間点を中心としてその対称度をコントロールします。ス
	クエア波 LFO のパルス幅を変更という意味を表します。
Destination	どのパラメータが LFO によってモジュレーションを受けるか選択します。

## バックパネル

RP-Distortion ロゴをクリックするとバックパネルが表示されます。ここでは、クレジット、バージョンと シリアルナンバーの情報を参照することができます。それに加え、RP-Distort のグローバル・コント ロールの設定を行うこともできます。

## コンピュータ・キーボードの on/off

RP-Distort のプリセッとの切り換えをコンピュータのキーボードによって上下にスクロールするか否かを設定します。

ホワイト・バージョン

背景のグラフィックを白と黒に切替えます。切り替えた後、セッティングを有効にするには RP-Distort を再起動する必要があります。

#### MIDI プリセットコントロール

RP-Distort が MIDI プログラムチェンジや MIDI バンクセレクト・コマンドを受付けるか設定します。

#### DC フィルター

いくつかのディストーション(例: "Rectification")は、DC オフセットをシグナルに加えます。デフォルト では、このオフセットはオンになっていますが、お好みでオフにすることもできます。